

# 磁性材料カンパニー

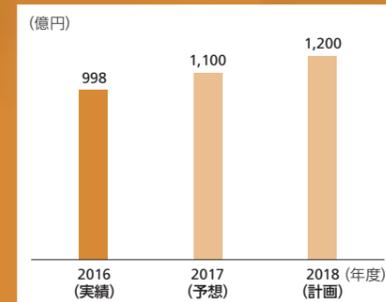
## 中期経営計画の基本方針

### モノづくり体制を「革新」し、成長への道筋づくり

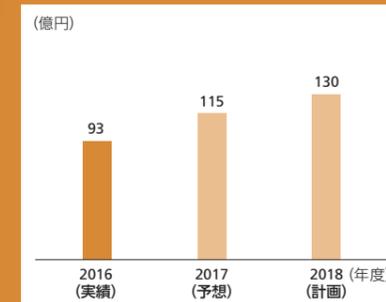
- グローバル生産体制の強化
- 革新的生産ラインを構築

## 定量目標に対する進捗

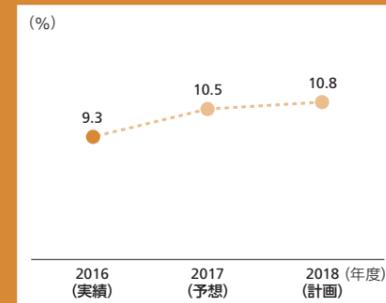
### 売上収益



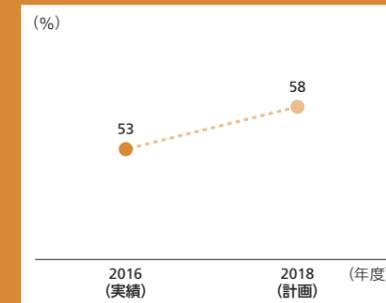
### 調整後営業利益



### 調整後営業利益率



### 海外売上比率



## 投資計画

投資額 **480** 億円 (2016年度～2018年度累計)

### グローバル生産体制の強化

- 生産能力増強
- 工場と研究所の一体化
- 革新的生産ラインの導入
- マテリアルフローの最適化



磁性材料カンパニー代表取締役

赤田 良治

## 中期経営計画に対する事業の進捗

### 主な進捗

各国・地域によるCO<sub>2</sub>排出規制や燃費規制の強化など環境意識の高まりから、中国をはじめ世界各国でxEVの生産台数は急激に拡大する見込みです。

その需要に応えるため、日立金属三環磁材(南通)有限公司を設立、2017年4月に稼働を開始しました。さらに、熊谷磁材工場において、ネオジム磁石とフェライト磁石の革新的生産ラインの建設に着手しました。

### 今後の注力事項

新たに導入する革新的生産ラインでは、新しい生産技術やIoTの採用によって、高い生産効率を実現します。同時に、山崎地区(大阪府三島郡)にある磁性材料研究所を熊谷地区へ移転することで、革新ラインを含めた工場と一体となって顧客ニーズを捉えた技術開発を加速していきます。

これらの施策により、熊谷磁材工場をネオジム磁石事業およびフェライト磁石事業の統括機能を集約したマザー工場と位置づけます。

加えて、磁性材料カンパニーの情報部品事業も熊谷磁材工場へ集約します。生産拠点の集約を進めることにより、モノづくり体制を革新し、海外を含めた生産拠点へ新しい生産技術を展開するスピードを上げていくことで、事業の拡大をめざします。

技術開発では、ネオジム磁石の省重希土類技術を深化させ、重希土類使用量の大幅削減を図ります。フェライト磁石は、新組成開発およびマイクロ組織制御技術、薄物加工技術を駆使し、高性能化、小型化を図ります。

また、磁石合金製造工程からリサイクル工程へ積極的な投資を行い、マテリアルフローの最適化を図ります。

### モノづくり改革の実践:革新的生産ライン

徹底した自動化とIoTの活用により  
品質向上と生産性の最大化を実現

ネオジム磁石・フェライト磁石の革新的な生産ラインを熊谷地区に新設

成長を続ける自動車関連市場の需要に対して「質・量」で対応



完成イメージ図

ネオジム磁石工場  
(2017年4月建設着工)

重希土類拡散プロセスにおいて新方式を採用

フェライト磁石工場  
(2017年2月建設着工)

小型薄物形状に対応した生産ラインの拡充

### 中国事業の拡大

日本と同一品質で競争力のある製品を実現

日立金属三環磁材(南通)有限公司

所在地 中国江蘇省南通市  
出資比率 日立金属:51% 中環三環:49%  
生産能力 1,000トン/年(2017年度)⇒2,000トン/年  
売上目標 100億円(2018年度)

中国市場



欧米・アジア市場

当社の有する重希土類拡散技術を導入



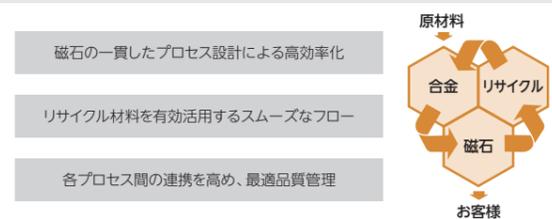
工場外観

開業式

火入れ式

### マテリアルフローの最適化

磁石合金製造工程・リサイクル工程への影響力を強め  
上流から下流までの工程を一元運用管理



磁石合金製造工程・リサイクル工程へ積極的な投資